

通商産業部

広瀬通商産業事務次官来沖

3月27日(月)～28日(火)の日程で、広瀬勝貞通商産業事務次官が来沖し、期間中に、沖縄県商工会議所連合会を始めとする地元経済6団体との懇談会がザ・ブセナテラス・ビーチリゾートにおいて開かれました。

同懇談会では、広瀬事務次官から「最近の通産行政について」というテーマで説明がありました。その中で、我が国の経済の現状や今後の課題について説明があった他、現在の沖縄県における景気浮揚対策、経済・産業の振興、さらには北部振興という大きな課題について通産省としても積極的に取り組んでまいりたいとコメントしました。

一方、経済団体側からは、沖縄経済振興に対する一層の協力、中小企業の技術・経営・流通・人材育成等の面でのさらなる支援の要望があり、また、全国画一的な産業施策だけでなく、沖縄の地域に合うような形の施策を検討するよう併せて要望がありました。

これに対し、次官からは沖縄の皆様が使いやすい、また、ニーズに合うようなものを作っていくことが大事だとの感想があった後、今後とも沖縄振興、北部振興について、沖縄県の皆様の知恵を借りながらやっていきたいとのコメントがありました。



農林水産部

第51回「沖縄県植樹祭」を南北両大東村で開催

去る4月29日の「みどりの日」に第51回沖縄県植樹祭が「2000年 豊かな郷土の森づくり」をテーマに、大東島開拓100周年を記念して南北両大東村の国民運動場及び総合運動公園でそれぞれ開催されました。沖縄県植樹祭は、森林の働きに対する重要性を認識し、みどり豊かで潤いのある環境づくりを図るため、沖縄県及び沖縄県緑化推進委員会の共催により、毎年「みどりの日」に開催されています。

南大東島での式典に出席した小山裕沖縄総合事務局局長は、「近年、世界的な森林の減少等の中で、地球温暖化による環境問題への認識が高まっていることや、特に、今年は7月の「沖縄サミット」の開催を控え、県民の緑化に対する気運も高まり、地域における環境緑化が推進されていることは誠に喜ばしい限りです。」と祝辞を述べました。

当日は、両村において緑の少年団代表により「緑は、私たちに多くの恵みをもたらす、豊かな文化を培ってきました。これからみんなで植える木々を大きく豊かな緑に育て次代に引き継いでいくことは、私たちの大切な使命です。第51回沖縄県植樹祭の開催に当たり、私たち一人一人が、緑がもたらす多くの恵みに感謝し、緑の大切さについて考え、理解し、緑を増やし守り育てていくことを決意します。」と力強い大会決議が宣言されました。式典終了後、両村において参加者全員による植樹が行われ、南大東村ではリュウキュウマツ、フクギなど1,200本が、北大東村ではシャリンバイ、イヌマキ等2,200本がそれぞれ植樹されました。



財務部

『国有財産情報公開システム』の運用開始

国有財産の1件別情報、国会に報告している情報等について、インターネット上で公開するための「国有財産情報公開システム」の運用を去る4月3日(月)から開始しました。

当該システムでは、各省庁の所管する行政財産約44,000口座(沖縄県内は約700口座)を1件別に所在地、用途(庁舎、宿舍等)、数量、台帳価格、容積率等の内容を見ることができます。また、省庁・都道府県等でも検索できるほか、地図情報ともリンクされていることから地図上でも検索ができます。なお、普通財産については、平成14年度に掲載する予定です。

また、沖縄総合事務局財務部が行っている一般競争入札や価格公示売却に関する情報はもちろん、他各財務(支)局の情報も閲覧できます。

当該システムではこのほかにも、国有財産の概要等を説明しているほか、国会に報告している「国有財産増減及び現在額総計算書」等も公開しております。なお、当該システムは、大蔵省ホームページの「国有財産」の項目を開くと閲覧できるほか、沖縄総合事務局のホームページからも閲覧できます。

大蔵省HP
(<http://www.mof.go.jp/>)

沖縄総合事務局HP
(<http://www.ogb.go.jp>)



開発建設部

開発建設部入札監視委員会について

【入札監視委員会の発足経緯】

沖縄総合事務局開発建設部では、道路、ダム、港湾、空港、公園及び官庁営繕工事の多岐に亘る公共工事等を実施しております。これら工事の発注に関しては、不正の起きにくいシステムの構築が必要であり、手続きの透明性・客観性・競争性を高めるための様々な工夫がされています。この手続きについて、さらに透明性を高めるため、第三者による監視の必要があり、事後チェックの機関として、入札監視委員会の設置が求められ、国の各公共工事発注機関の長の諮問機関として設置されました。

【開発建設部入札監視委員会の設置】

開発建設部における入札監視委員会は平成7年3月に設置、山里委員長をはじめ委員4名で構成され、これまで5年間、入札契約手続き等の審議が行われました。この間、1,700余件に及ぶ入札契約の審議と、ほとんどの工種、地域に亘って詳細な手続きなどが審議され、開発建設部における年間工事の発注計画の公表や、入札契約時における審査基準の充実など一定の成果があがったところです。

委員長 山里将晃 名桜大学国際学部教授
委員 上原方成 上原地盤工学研究所長
委員 尚 弘子 放送大学沖縄学習センター所長
委員 米村幸政 沖縄県商工会議所連合会常任幹事
今般、委嘱を終えられた委員長からコメントをいただきましたので、紙面をお借りしてご紹介いたします。

振り返れば、我々4名がこの任に就いたのは5年前のことでした。折しも公共事業を取り巻く世界が世の中に広く耳目を集めることとなった頃と一致し、入札契約に係る様々な問題、外国企業の参入をはじめとする国際化の波が寄せるなど、透明性、公平性を確保しつつ企業の競争性を高めるような新しい入札契約システムが導入された時期でした。このような時に新たに委員会が立ち上がったわけですが、我々委員としては県民の立場に立って素直な観点から意見を申し上げる必要があったと思います。この間、様々な工事に関して現地視察を行い、10数回に及ぶ審議を経て来ましたが、それぞれにおいて各委員とも思うところを指摘してきました。皆様がこれら指摘をふまえて順次入札契約システムの改良を実施し、相当高いレベルまで持ってきたと感じています。現在の入札契約システムは、当初の目的を満足するものになったと思いますが、今後も社会状況の変化に応じて、更なる前進をして欲しいと考えています。

平成12年3月

沖縄総合事務局開発建設部入札監視委員会委員長
山里 将晃

「道の相談室」の開設

道路利用者等からの道路についての相談・問い合わせは今まで道路を管理している道路管理者ごとに行っていました。しかし、高速道路・国道・県道など道路の種類によって管理者が違い、さらに同じ国道でも国が管理している道路と県が管理している道路があり、一般の皆様には分かりづらいところがありました。そこで沖縄県内の高速道路、国道、県道に関する相談、問い合わせなどを受け付ける窓口として「道の相談室」を平成12年3月27日に開設しました。

総合的な道路相談窓口として相談・問い合わせ、意見、提案などを受け付け、その情報をそれぞれの道路管理者に伝え、適切に対応を行うことにしています。これによって皆様が道路管理者が誰かと調べる必要がなく、また、窓口のたらい回しといったことがなくなります(この仕組みをワンストップサービスといいます)。ただし、渋滞情報、交通規制情報や公共工事の発注、入札に関連した相談は対象外になります。

道の相談室の受付時間及び電話番号

受付時間:午前9時30分～午後5時迄

(但し午後12時～1時、土、日、祝祭日、年末年始を除きます。)

沖縄総合事務局 道の相談室

0210 - 106 - 497(フリーダイヤル)

098 - 860 - 5154(一般回線)

098 - 860 - 6575(FAX)24時間受付

(但し午後5時以降及び休日の場合は翌日、翌日が休日の場合は休み明けになります。)

沖縄県 道の相談室

098 - 866 - 3200

日本道路公団 沖縄管理事務所 道の相談室

098 - 870 - 5852

「世界に響け万国津梁の鐘」
撞き初めのつどい

去る3月26日に首里城公園にて、サミット関連施設の視察で訪沖中の小淵総理大臣(当時)、稲嶺沖縄県知事、親泊那覇市長、未来を担う子供達(代表して城西小学校生徒)と一緒に、複製した「万国津梁の鐘」の撞き初めのつどいが行われました。

首里城正殿前に掛けられていた鐘は今から約540年前に作られ、鐘には、「琉球王国は南海の優れた場所にあり、朝鮮の優れた文化に学び、中国と日本とは深い結び付きを保持している。船を操って万国の架け橋の役割を果たし、貿易によって栄える国である。」というような内容が刻まれ、往時の海洋王国としての誇らしい心意気が感じとれます。この度沖縄県立博物館の協力により実物から型を取り複製して首里城に展示することができました。今後は各種行事で鐘が撞かれ、万国津梁の歴史が伝えられていくことでしょう。



運輸部

五級小型船舶操縦士免許
新設される

近年の海洋レクリエーションの進展に伴う資格取得のニーズの高まりにこたえるべく、このたび小型船舶操縦士の資格に新たに五級小型船舶操縦士が追加されました。

沖縄県は近年特に海洋レジャーのメッカとして観光入域客も増加しており県民の関心も高まっていることと思われます。

五級小型船舶操縦士の資格取得については、受験によって取得することもできますが、指定機関での講習を受けることにより試験は免除される方法もあります。

五級小型船舶操縦士の資格で乗り組むことができる船舶の航行区域等は、運輸省令で定める五トン未満の船舶で、海岸から1海里以内と湖川及び運輸大臣の指定する海域となっています。

その他にも、船舶職員法の改正により船舶の設備限定や障害に応じた限定、強度の色弱であっても一定の条件を満たす者について航行時間帯を限定した免許も新設されました。

なお、プレジャーボート電話相談窓口の設置については「平成11年7月号群星」でもお知らせしておりますが改めてご案内いたします。

相談窓口

沖縄総合事務局運輸部海運第二課
〒900-8530 那覇市前島2-21-7
TEL 098-866-0031(内線238)
FAX 098-860-2369

*開設時間

午前9時～12時、午後1時～5時
(土、日、祝祭日を除く)

自動車アセスメントの提供
について

運輸省とその認可法人自動車事故対策センターでは、平成12年4月5日に平成11年度版「自動車アセスメント」を公表しました。「自動車アセスメント」の冊子には、自動車の購入及び使用に際しての参考となるように、市販の国産、輸入乗用車のエアバッグ、サイドエアバッグ、アンチロック・ブレーキ・システム(ABS)、チャイルドシート固定機能付きシートベルト等の安全装置の装備状況、これらの安全装置の正しい使い方、ブレーキ性能、前面衝突安全性能及び側面衝突安全性能試験の比較試験結果が掲載されております。

この「自動車アセスメント」の冊子の入手方法については、自動車事故対策センター(TEL:03-5276-4455)の自動車アセスメント係にお問い合わせ下さい。

また、「自動車アセスメント」のパンフレットには、サイドエアバッグの装着状況並びにブレーキ性能、前面衝突安全性能及び側面衝突安全性能試験の比較試験結果が掲載されております。

このパンフレットの入手方法については、最寄りの沖縄総合事務局運輸部陸運第二課(TEL:098-862-1453)、陸運事務所検査部門(TEL:098-877-5111)、宮古支所(TEL:09807-2-4990)、八重山支所(TEL:09808-2-4772)又は自動車事故対策センター沖縄支所(TEL:098-862-8667)にお問い合わせ下さい。

さらに、運輸省ホームページ(<http://www.motnet.go.jp/>)においても「平成11年度自動車アセスメントの公表について」を紹介しております。

